

児童が読書に親しむ態度や意欲を高めた事例

学校名 熊谷市立大幡小学校
所在地 熊谷市代681番地
電話 048-521-0270

1 本校の概要

本校は、明治6年に開校し、153年目の歴史ある学校であり、児童数486名の大規模校である。本校は「大きな心、はたたく頭、たくましい体」を校訓とし、「夢や目標を持ち、自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成」に励んでいる。校庭には、学校のシンボルである「大幡山」があり、子どもたちが元気に遊んでいる姿が見られる。

2 本校の実践

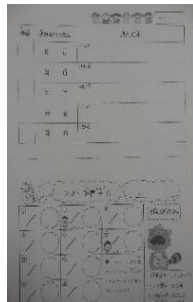
(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ e 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書目標の設定

低学年は50冊、中学年は30冊、高学年は20冊を年間目標とし、読んだ本を読書ノートに記録していく。前期、後期に達成状況を全校朝会で発表している。



イ 読書月間の取組

6月には「あじさい読書月間」11月には「どんぐり読書月間」2月には「雪だるま読書月間」と名付けて、年に3回の読書月間を設けている。図書委員が中心となり、企画を考え呼びかけを行っている。

(今年度の取り組み)

- ・ スタンプラリーやパズル
本を1冊借りるごとにスタンプを押してもらい、貯まると、図書委員の手作りのしおりをプレゼントした。
- ・ ポスターや放送での呼びかけ
図書館のマナーや読書月間の取り組みについて各教室にポスターを掲示してもらい、給食の時間には校内放送を利用し、呼びかけを行った。
- ・ 読書集会の実施
図書委員による読み聞かせや「図書館の使い方」の劇、図書館に関する〇×クイズを行った。

- ・ 出張図書館（高学年）

高学年の図書館利用者が少ないため「出張図書館」を各階で開き、貸し出しを行った。



ウ 地域や保護者との連携

- ・ 「おはなしの会『虹』」による読み聞かせを年15回実施している。学年や季節に応じた本と読んでいただいている。
- ・ 夏休みと冬休みに、「家庭読書の日」を設け、親子で1冊の本を読み、感想を共有する。

エ 環境整備の充実

本校には、図書館補助員が週3日で来校する。新刊やおすすめの本をカウンター近くに並べたり、季節を感じる飾りを作ったり環境整備に努めている。廊下には各学年の月ごとの貸出冊数ランキングを掲示し、意欲がもてるようにしている。



3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 読書月間の取組に積極的に参加する児童が図書館に来て本を借りたり、読書を楽しんだりする姿が見られた。
- ・ 教師と図書館補助員さんが連携して児童が読みやすい読書環境の整備を充実させることができた。

(2) 課題

- ・ 中学年、高学年の中にも長編小説に抵抗があり、短い絵本や漫画を中心に借りる児童が見られたので、少しずつ長い物語にも挑戦できる取組が必要である。
- ・ 学年が上がるに連れて、本を借りに来る頻度が下がるので、高学年でも本を借りやすいような工夫が必要だと感じた。

(3) 終わりに

授業での図書の活用や児童の読書活動を充実させていきたい。